

オリーブ通信

2014年
4月号
2014.
4.12発行

第150号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



BNN外国人によるスピーチ大会 IN草津



年は第10回目となる“外国人による日本語スピーチ大会”が3月16日草津アマカホールで開かれた。滋賀県内には約24000人弱の外国人が住んでいるとの事。今回の参加者は14名。参加者を国別に見ると、インドネシア、ベトナム、中国、タイ、ペルー、アメリカ、インド、その中でもインドネシアからが6名。皆、日本へ来てからの思いを、淡々とあるいはジェスチュアを交えて熱く語る人など。彼らの話術にグイグイと引き込まれて思わず拍手したくなる場面もあった。和服を上手に着こなして登場した人もいた。それぞれのスピーチはどれも甲乙つけがたく審査にも相当時間を要したみたいで、発表までに30分ほど時間も超過してしまった。最優秀賞は中国の劉曉英さん。優秀賞はインドネシアのアセップサントサさんが選ばれた。インドネシアの研修生の人達は日本の生活にもすっかり溶け込んでいるようで研修先の応援団もたくさん来ているようだった。今回オリーブからの参加者はゼロだったけれど、ボランティアスタッフとして5名参加。次回には是非とも出場する人が出てきてくれることを。(レポート 重松 叡子)

中川先生のへんてこ日本語

(45)

間(ま)の文化

先日大阪の心齋橋を歩いていたら、ここは中国からの観光客が多く買い物をしているのだが、いきなり中国人らしき(中年)女性が私のそばにやって来て、道を尋ねた。その距離があまりに近く、顔と顔がぶつかりそうだった。

またこんなこともあった。「一年生の第1回目の授業が終わったとき、中国人女子留学生在が私のそばにやって来て、「先生、私妊娠しています」と言うのである。唐突と話すことはさておいて、少し大きくなったおなか私が私と接触するくらいの距離であった。返答に窮してしまった。

日本では、会話のポーズだけではなく、相手との物理的距離を保ちながら会話を進行させる慣わしがある。それは、日本はお辞儀の文化を継承しているため、あまりに近いと頭と頭がぶつかってしまう。日本では、自分のテリトリーが30cm、相手のテリトリーが30cm、つまり60cmの距離が最も話しやすいとされている。

ところが握手の文化を持つ国々では、相手と近づかなければ握手ができない。ハグやボディータッチなど、相手の体に触れながら会話する習慣は日本にはない。日本でも最近では、ハグする光景を見かけるが、どうもしっくりこない。

この間(ま)の取り方は、授業でも重要で、学生に発話を求めるのに、どのくらいの距離を保てばいいか、という問題につながる。話しやすい先生、発言しやすい授業って、あると思うが、そんな間の取り方に先生の隠れ技がありそうである。供託の前に立ったまま発言を求めても、他の学生の手前、大きな声で発言するのは恥ずかしいだろうし、近寄りすぎると圧迫感を覚える。この「微妙」な間が会話の活性剤ともなるのだろうか。

こんなことを書いていたら、中国留学生が私の部屋へやって来て、体が接触するくらいの距離から質問を投げかけてきた。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



高校の入試に合格しました！！



桜井ジョエル君（ペル）

3月5日に、滋賀県立高校の入試がありました。日本に来て2年しかたっていないので、別の部屋で1人で受験をしました。スペイン語の辞書を使っていいと言われました。午前は、国語、数学、社会、午後には、理科と英語の試験がありました。ちょっと胸がドキドキしました。

3月12日に合格発表があり、石部高校に合格しました。

中学生の時、サッカー部で楽しかったのですが、草津東に行ってサッカーをやりたいけれども、点数がとれるかとれないかわからなかったです。もうちょっと時間が欲しかったと思います。

2年前は日本語は全然わかりませんでした。受験できるまでに日本語が上達し、中学校の先生やオリブの先生に感謝しています。
(ジョエル)

ジョエル君、高校合格おめでとうございます。本当に良かったですですね。2年前、ジョエル君を担当した当時は、意思の疎通が全くできず「水口にあるさくら教室で日本語の勉強をしている」ことが2時間かかってやっと分かったことなど、懐かしく思い出されます。

その年の2学期から石部中学2年生に転入し、通訳の方がついての学校生活が始まりました。2か月もすると日本語はみるみる上達し、また、サッカー部のキーパーとしても活躍し、学校生活の大切さと大きな力を感しました。オリブでは、漢字やみんなの日本語を学習していましたが、徐々に中学校の定期テストの勉強をしたり、3年生になってからは高校入試の勉強に切り替えたりしました。週1回ではできることに限りがあり、英語は得意でしたので数学と国語を重点的に勉強しました。



オリブにはサッカーの試合で疲れていても、休まず出席し、居眠りしながらも頑張っている姿に孫のように愛おしい気持ちになり、3月には合格を祈ってとてもドキドキしていました。今後はさらに日本語の力をつけるため、N3、N2、N1と段階を追って日本語能力試験に挑戦してほしいと思っています。
(田中一美)

2014年 オリブの紹介ポスター



3月8日（土）まちづくりセンターの周年イベント『サークル紹介コーナー』で、以下のようなパネルを掲示しました。教室201前の掲示もリニューアル。みなさん、また見てくださいね。
(2014年2月作成：小春)

オリブ

団体設立 1994年度
まちセン登録 2002年度

所属部会 施設部会

定期的な活動
毎週土曜日の夜間

主な活動場所
まちセン201・202室

楽しく、しっかり、スタッフも、勉強（日本語教室）



中国、ベトナム、インドネシア、フィリピン、韓国、ドイツ、アメリカ…等、さまざまな国の方が日本語学習に来られています。日本語の修得レベルや日本語能力検定試験受験、会話といった目的別にグループを編成しています。クチコミで来られる生徒さんが多く、みな熱心に勉強され、授業の合間や終わった後は、楽しくコミュニケーションしています。“猫の手も借りたい”日も多いのですが、何とかスタッフの協力で毎回無事に乗り切っています！

秋の旅行



(電車で大阪へ・2013年)



(電車で奈良へ・2012年)

楽しくコミュニケーション（交流イベント）&力量UP（講座）

毎年、生徒、先生の交流を深めるために、日帰り旅行やパーティをしています。今年はオリブ創立20周年で、特別イベントを企画！パーティでは、お腹を満たしながら、生徒によるスピーチや歌、チーム対抗ゲーム、ダンス等で盛り上がっています。

また、日本語を教えるための講習会や異文化体験講座を開き、力量UPを目指して勉強をしています。



18周年パーティ
(まちセンにて・2012年)



日本語の教え方講座
(外部講師をお迎えして)



手作りペルー料理
おいしくてあっという間になくなる



教えることって???

「大丈夫！」

平岡満喜

みなさん、こんにちは！！春ですね！！暖かくなってきました。ワタクシは、寒い冬も好きですが、ポカポカしたこの季節も大好きです。

さて、この季節は卒業・入学など、慌ただしい時期でもあります。

我がスクールでは、今年は新中学生になる生徒が多く、レッスン曜日・時間の変更を調整したりそれについての会議が何度か行われたりしました。この時期、新生活にドキドキ！ワクワクしているのは生徒だけではなく、実は保護者もドキドキされています。

「レッスン時間はどうなるだろうか…。」

「中学校の英語についていけるだろうか…。」

「クラブが始まり英語レッスンを両立できるだろうか…。」

などなどドキドキというより、「不安」な思いがあるようです。そんな時、我々が伝えるのは

「時間、曜日など大丈夫ですよ！中学生だからこそ、得意なことを伸ばす、学び続けることが大切ですから。」

とお話しさせていただきます。おおかたの保護者は安心を得てくださいます。

この「大丈夫」という言葉はすごいな…と思います。

この一言を言われるだけで心が落ち着き、安心するのです。もちろん、伝えた側は本当の安心を感じていただくために全力を尽くし、責任を負っていくのですが。

この新しい時期、ワタクシもわくわく、ドキドキしていますが大丈夫！！頑張りまーす(笑)！！

ただいま！復帰組です！



オリーブ歴4年+3年半です。

学生時代に入会しました。当時は近所に住んでいたので自転車で通っていました。卒業後もしばらく通っていましたが、あるとき遠方に引越し、遠くて通えないので退会しました。

その後、結婚し、草津まで1時間ちょっとのところに引っ越しました。

ある日、用があってオリーブにきました。そこで「やっぱりオリーブは楽しい！」と思って再入会しました。それを夫に言うと「草津？遠い！あほか！」と言うので、オリーブに連れて行きました。そしたら夫も「ここ、楽しいなあ♪」と入会しちゃいました。(夫は、入会のきっかけを聞かれると「悪妻にそそのかされてまして。」と答えます。)

以前は「日本語は全く初めて。ひらがなも分からない」というレベルから、「て形」が出てくるところまでぐらいの範囲をよく教えていました。再入会してから初めてN4・N3レベルを教えました。それまでは「みんなの日本語」の初級1の前半しか知らなかったのので、初級2や中級の本の範囲は未知の領域です。だから今、得意分野(教えられる範囲)を広げていこうと勉強しているところです。

ほかにも日本語教室はあるのに、なんでオリーブなの？とよく聞かれます。

まず、よそは平日の昼間に活動していることが多く、土日に活動できるところがなかなかありません。そしてオリーブほど大人数のところも、なかなかありません。また、条件が自分に合っても、考え方の合わないグループだと、入っても楽しくないでしょう。あるグループに、「うちは主婦しか受け入れないんです。」と入会を断られたこともあります。その点、オリーブは人の入れ替わりが激しいので、新しい人は温かく迎え入れますし、やめる人も無理に引き止めず温かく見送ります。オリーブのこういう自由なところが居心地よくて大好きです。(納谷久美子)



先月の活動(3月)

日本語教室 3/1(M), 8, 15, 29 (4回)
 BNN 会議 3/9 (日) (納谷、佐野)
 まちセン周年イベント 3/8(土)
 (お土産作り: 田中一、パネル作成: 小春)
 BNN 外国人によるスピーチ大会 (草津アマカホール)
 3/16 (日)
 (スタッフ: 納谷、重松、豊村、佐野、吉田)
 まちセン運営協議会施設部会 3/20(木) (田中一)



今月の活動予定(4月)

日本語教室 4/5(M), 12, 19, 26 (4回)
 BNN 会議 未定 (納谷)
 まちセン運営協議会全体会 4/17(木) (田中一)
 会計監査日 未定

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



お知らせ

参加人数 (3月)

	3/1	3/8	3/15	3/29
先生	14人	10人	14人	14人
生徒	18人	9人	18人	9人

～Open Church～

日程: 4月20日 日曜日

時間: 15:00 から 17:00

場所: ジーザスハウス守山教会

問い合わせ: 平岡まで mulberry.joy@gmail.com



受講者募集

外国につながる子どもの日本語教育

① 「外国語としての日本語」の教え方

② 日本語力をつける「日本語検定」受検対策

【開講日時と内容】 全て 午前10時～12時 10回分: 5,000円 (1回: 500円)

4月12日(土) 国の施策・他府県の状況

5月10日(土) 「日本語検定」受検対策

6月14日(土) 「日本語検定」実施

7月12日(土) 滋賀・彦根の状況

8月9日(土) 「外国語としての日本語」教育

9月13日(土) 子ども用の日本語教科書・教材

10月11日(土) 「日本語検定受検対策」

11月8日(土) 「日本語検定」実施

12月13日(土) 日本語教育と母語教育

1月10日(土) 大学生の支援ボランティア

2月14日(土) 日本語指導と教科指導

3月14日(土) 2014年度のまとめ・2015年度の講座内容

【会場】 大学サテライトプラザ彦根 (JR彦根駅前 「アルプラザ彦根」6階)

【お申込み・お問い合わせ】 午前: 「にほんご滋賀」副代表 段林ひろみ まで

TEL. 080-3100-4551

会員の動き (3月)

<入会> ^{かつらぎ}葛城 ^{まな}真奈さん



1年ぶりに復帰することになりました。学習者のみなさんに楽しんで学んでもらえるようにしたいです。

北川 ^{ちいこ}智伊子さん



外国人による日本語スピーチ大会のチラシを見て、この活動を知りました。よろしくお願ひします。

<退会> 川岸 洋一さん (日本語教師としてベトナムへ)

<賛助会員> なし



編集後記

新しい年度が始まりました。今年はオリーブ20周年です。

10周年の時は、「次の節目は15周年かな? 20周年かな?」なんて、遠い遠い未来のように話していたのに、光陰矢のごとし、なんとも早いものです。10年前よりも少し年をとったオリーブ。若々しさから少ししっとりと!? 20才らしい記念パーティにできたらいいですね。 (こはる)